

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【保健体育科】

1. 対象 視覚障害 高等部1年生 2人
2. 単元名「サウンドテーブルテニス」（全12時間）
3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	※学習指導要領に基づき、子どもの実態を踏まえて単元目標を記入してください。 ・体の正面でボールを捉え、ラケット操作し狙った方向にボールを打ち、試合を行うことができる。
思考力、判断力、表現力等	※学習指導要領に基づき、子どもの実態を踏まえて単元目標を記入してください。 ・自分や仲間のボールの打ち方の改善点や良い点を見つけ、伝え合うことができる。
学びに向かう力、人間性等	※学習指導要領に基づき、子どもの実態を踏まえて単元目標を記入してください。 ・競技を楽しみ、仲間と協力して練習や試合に取り組むことができる。

4. 本時の目標

- ・ボールの転がってくる音を聞き、体の正面でボールを打つことができる。 [知識・技能]
- ・ラケットの向きを調節して相手にボールを打ち返すことができる。 [知識・技能]
- ・ボールを打ち返すためのポイントを理解し、仲間の課題や良い点を伝えることができる。 [思考・判断・表現]
- ・仲間と協力してラリーを、続けようすることができる。 [主体的に学習に取り組む態度]

5. 授業展開【**本時**・単元】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い

<p>※本時または単元における「解決したい課題や問い」を、実際に子どもに提示する表現で記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールの転がる音を判断し体を動かしたりラケットの角度を調節したりして、狙った方向にボールを打ち返し、ラリーを続けよう。（目標の数を自分たちで設定し、その目標数を目指して取り組む）

考えるための材料

<p>※各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を働かせて考えられる材料を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラリーの様子を撮影した動画。 （どうすればラリーを続けられるか、ボールを打つ位置とラケットの操作に着目し、自分たちの動き確認し、改善方法を考える） <p>※解決したい課題を考えるために必要な資料、道具、教材などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPad、iPadスタンド、テレビ、AppleTV
想定される活動
<p>※考えるための材料を使って、子どもがどのようなことを考え、どのようなことに気付くのかを簡潔に記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は、ラリーを安定して行うことができている時と、失敗した時の様子をテレビまたはタブレット端末で比較する。ボールを打つ時の体の位置と、ラケットの操作方法について着目し、ラリーを続けるために、改善することの参考にする。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

※設定する「対話の方法」（グループ形態、時間設定、留意事項など）を簡潔に記入してください。

- ・ラリーが終わったら、仲間と動画を見て、ラリーが終わった原因を分析する。
- ・お互いの課題や良い点を伝え合う。
- ・修正点や次のラリーで意識することを明確にして、ラリーを続けるためのプランを立てる。

※「対話や思考のプロセス」を想定し、子どもの言葉や行動等で具体的に記入してください。

- ①「打球を真すぐ打たないとラリーを続けるのは難しいね」
「ボールを打つ時のラケットの角度によって、打球の方向が変わるよね」
「エンドフレームでラケットの向きを確かめることができるよね」
「ラケットの向きを確認して、そのままの角度でボールを打つことを意識してみよう」
- ②「ラリーが失敗した時は、体の正面でボールを打てていないことが多いね」
(空振りをする・斜めにボールが転がる)
「転がってくるボールの正面に移動して、ボールを打たないと、ラケットの向きを調節して打つのは難しいね」
「ボールの音をしっかり聞いて、ボールの正面に移動してから打つことを意識してみよう」
「斜めに転がってきたボールも、ボールの正面に移動すれば、真ん中の位置からどれだけボールがずれたかを把握することもできるね」

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

※設定した「解決したい課題や問い」に対する子どものあらわれを想定し、子どもの言葉や行動等で具体的に記入してください。

- ・体の正面でボールを捉え、ラケットの向きを調節して狙った方向にボールを打ち返している。
「ボールを体の正面で捉えると、打ちやすいね」
「エンドラインで、ラケットの向きを調節してから、ボールを打つと、狙った方向にボールを打てるね」
- ・自己や仲間の課題や良い点を分析したり、伝え合ったりしている。
「ラリーが失敗した時は、体の位置とボールを打つラケットの位置が離れているね」
「ボールを相手の正面に打つことができている時は、安定してラリーが続いているね」
「〇〇さんは、エンドラインでしっかりラケットの向きを調節しているね」
- ・ラリーを続けることで、サウンドテーブルテニスの特性や楽しさを味わっている。
「打ち方を工夫するとラリーを続けることができたね」
「協力してやることで目標の数を達成することができたね」
「ラリーが続くと楽しいね」